

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により
通告します。

2022 年 5 月 30 日
東村山市議会議長 あて

議席番号 24 番
質 問 者 渡 辺 み の る

記

1. 18 歳までの医療費無料化の実現を

東京都が今年度の予算に組み込んだ 18 歳までの医療費無料化について、3 月の代表
質問では「市の財政負担等が不明確なため、明確な回答ができない」と答弁している。その
後の東京都とのやりとりや、市の検討状況を伺う。

2. 急激な物価高騰～市としてできる対策は何か～

(1) 以下の施設等における物価高騰の影響と市の対策を詳しく伺う。(一問一答)

- ① 幼児教育・保育施設
- ② 高齢者施設
- ③ 障がい者施設
- ④ 学校
- ⑤ 市内事業者
- ⑥ 市民生活(生活保護利用者や低所得の市民に関することも含めて)

(2) 上記施設等への支援に関して、国や東京都に対してどのような要請をしていくのか。特
に、幼児教育・保育施設や学校、高齢者・障がい者施設については、運営に対する基本的な
支援を拡充することが必要と考えるが、今後の市の対応を伺う。

3. 中学校校則を人権の視点で考える

(1) 中学校における校則(生徒心得など)は、何を根拠にどのような目的で策定されている
のか。

(2) 当市の中学校における校則について、下記項目に関してはどのような規定があるのか。
それぞれ、内容と規定している理由について詳細に伺う。

- ① 服装

②頭髪

③化粧やピアスなど

④持ち物

(3) 上記規定について、子どもの人権尊重という視点で教育委員会として規定することが望ましいと考えているのか。

(4) 上記規定について、生徒や保護者からどのような声があがっているのか。また、生徒から「なぜ守らなくてはいけないのか」などの意見が出た際、学校ではどのように説明しているのか。

(5) 現在、文部科学省において「生徒指導提要」の見直しが行われている。校則に関する見直しの内容はどのようなものか。また、それに対する市の考え方を伺う。

(6) 2021年6月8日付の文科省通知に基づいて、校則について生徒・保護者が議論する機会はどのようなものを設けたのか。

(7) 2021年3月16日、当時の文科大臣は「人権・人格を否定する校則は望ましくない」と答弁している。頭髪・服装・化粧・服飾品などは、生徒の人権に密接に関わる問題だと考える。当市、教育委員会として生徒の人権を尊重する視点で、どのように各校に校則の見直しを促していくのか。

以上